

児童対象の感染管理セミナーで ATP 検査を効果的に活用

～「見えない汚れ」の「見える化」により、手指衛生・環境衛生・感染管理の意識向上～



医療編

川崎市立多摩病院（指定管理者：学校法人聖マリアンナ医科大学）

川崎市立多摩病院は学校法人聖マリアンナ医科大学による管理運営の下、地域医療支援病院として地域の住人や医療・福祉施設との密接な連携も重視している。同院は 2014 年 8 月、地元の児童約 30 人を対象に「かわさき KIDS かんせんセミナー」を開催した。同セミナーでは、微生物や感染予防などをテーマとした講義、グラム染色の体験実習のほか、ATP ふき取り検査などを用いた手洗い講習が行われた。

本稿ではセミナーの様子を紹介するほか、総合診療内科部長の國島広之氏と、日本デルモンテ株式会社群馬工場で工場長を務めた経歴を有する本間茂氏（キッコーマンバイオケミファ株式会社）による、ATP 検査を現場で効果的に活用するための考え方をテーマとした異業種対談も収録している。國島氏は「ATP 検査は、検査結果が数値で得られ、その場で衛生指導ができるという点で『教育ツール』として高い効果を発揮する。当院でも手指衛生や環境衛生のチェックに活用している」と語る。